

資料 1

日時 平成29年10月13日
午後7時～
場所 西条地区集会場

H 2 9

柳 田 地 区



市 長 の ま ち づ く り

ふ れ あ い ト ー ク

事務担当

〒935-8686（住所記載不要）

氷見市 企画政策課 広報広聴担当

Tel74-8012 Fax74-8062

E-mail:kouhou@city.himi.lg.jp

昨年度のふれあいトークの 対応状況について

■ 昨年度のふれあいトークでの対応状況について

対応済

- 268-福祉避難所の設置
- 264-布尾山古墳を観光に活かす等

29年度内

- 259,271-市道上泉海岸線の交差点に信号機及び横断歩道の設置

可能

30年度以降

- 258-公共下水道整備
- 260-氷見伏木線沿線沿いの畑地の維持

未定

- 267-畑地灌漑用水を工業用水利用
- 270,272-氷見伏木線に融雪装置整備

参考意見

261-海浜植物園に行くバス路線の開設、262-婚活の成果、263-柳田保育園の復活
265-防災対策、266-農業用排水路の改善

市政の概要

「住みたい街」・「働きたい街」・「育てたい街」の
3つの氷見元気プロジェクト

I 住みたい街 ～いのちと暮らしを守る～

II 働きたい街
～働く場所の創出で元気な氷見市へ～

III 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～

I 住みたい街 ～いのちと暮らしを守る～ ①

拡充

グランドデザイン調査検討事業

予算額: 954.2万円



JR氷見駅からひみ番屋街まで、市街地全体のグランドデザインを描き、観光客誘致、防災、文化情報発信など、4つの公共空地の利活用方針の策定及び漁業文化交流センターの活用について検討します。

I 住みたい街 ～いのちと暮らしを守る～ ②

新規

都市計画再構築事業 (都市計画マスタープランの見直し等)

予算額: 1,341.6万円

既存の都市計画マスタープラン(平成17年作成)を見直し、まちづくりの目標や数値指標を達成するために必要な事業を記載した都市再生整備計画を作成します。

※都市計画マスタープランとは・・・

地域の特性を踏まえたまちの将来像やまちづくりの方針等を具体的に示し、無秩序な開発の抑制や適切な土地利用の誘導など計画的な都市の形成を図るために定めるものです。

I 住みたい街 ～いのちと暮らしを守る～ ③

新規

地域活力施設整備支援事業

予算額: 1,000万円



自治会が自主的、主体的に実施する小規模な道路・水路や公園などの社会資本の整備等についての必要な経費を補助します。

I 住みたい街 ～いのちと暮らしを守る～ ④

新規

がんセンター整備予定地での埋蔵文化財
試掘調査費【病院事業会計】

予算額: 360万円



金沢医科大学氷見市民病院でのPET-CT導入によるがんセンター整備に向け、埋蔵文化財試掘調査を行います。

I 住みたい街 ～いのちと暮らしを守る～ ⑤

[その他主な事業]

※金額は予算額

- 新規** **ぶり奨学プログラム事業** 175.1万円
(ぶり奨学交流事業の開催)
- 拡充** **防災対策事業** 2,227.1万円
(防災ラジオの整備、津波ハザードマップの作成等)
- 拡充** **鳥獣被害防止対策事業** 1,411.7万円
(イノシシによる掘り起こし被害対策の調査研究等)
- 拡充** **包括的支援事業【介護保険】** 260.6万円
(生活支援コーディネーターの設置)

II 働きたい街 ～働く場所の創出で元気な氷見市へ～ ①

- 新規** **世界農業遺産調査検討事業**
予算額:572.3万円

400年の歴史を誇る定置網や、国指定天然記念物のイタセンパラと十二町潟のオニバスなど希少な動植物と共生する農業資産等について、日本農業遺産及び世界農業遺産の認定を受けるための準備に必要な調査・検討を行います。

Ⅱ 働きたい街 ～働く場所の創出で元気な氷見市へ～ ②

拡充

魚食文化リーディング事業

予算額: 2,769.1万円



市内の食関連事業者(魚食だけでなく食関連全般を対象を拡大)の売上向上を目的として行う新商品の開発実験や販路拡大等を実施しています。

(国の地方創生推進交付金事業の活用)

Ⅱ 働きたい街 ～働く場所の創出で元気な氷見市へ～ ③

新規

漁業文化交流センター管理運営事業

(ひみ漁業交流館魚々座を改称)

予算額: 1,115万円



氷見の伝統ある漁村文化を伝承・展示し、世界農業遺産の認定に向けた情報発信拠点として、氷見市漁業文化交流センターを平成29年7月14日から開館しています。

Ⅱ 働きたい街 ～働く場所の創出で元気な氷見市へ～ ④

[その他主な事業]

※金額は予算額

拡充

まんがのまちづくり推進事業 283.1万円
(潮風ギャラリー開館10周年記念イベントの開催)

拡充

観光広報強化事業 738.8万円
(テレビ番組や雑誌などのマスメディアでの発信強化)

継続

商店街賑わい創出事業 200.1万円
(商店街の賑わい創出に取り組む団体を支援や賑わいを支援するタウンマネジャーの招へい)

Ⅲ 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ①

第2子保育料無料化関連予算

拡充

民間保育所等施設給付事業
予算額: 2,500.7万円

多子世帯子育て支援事業
予算額: 345.6万円



保育所や幼稚園、認定こども園に入所する1歳以上の第2子の保育料を7月から無料化しています。

Ⅲ 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ②

第2子保育料無料化関連予算

新規

家庭で子育て応援金給付事業

予算額: 1,260万円



満1歳から満3歳になるまでの間、第2子以降の児童を保育所や認定こども園に預けずに、家庭で保育される世帯に対し、対象児童1人につき月額2万円の「家庭で子育て応援金」を支給します。

Ⅲ 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ③

拡充

放課後児童対策事業

予算額: 186.8万円



学童保育の充実を図るため、氷見児童育成クラブ(いきいき元気館)における学童保育時間を22時まで延長しています。

Ⅲ 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ④

拡充

小中学校ICT環境整備事業

予算額: 3,050.3万円



小学校・中学校の学習環境向上を図るため、全小中学校普通教室及び特別支援学級への電子黒板整備、及び全小中学校それぞれ1クラス分のタブレットパソコンを整備します。

Ⅲ 育てたい街 ～ストップ・ザ・少子化～ ⑤

[その他主な事業]

※金額は予算額

新規

子どもの未来応援事業 413.5万円

(子どもやその家庭の実態調査及び子ども・子育て支援事業計画の改定)

新規

子どもほっとサロン事業 60万円

(「こども食堂」3か所への助成)

拡充

子育て世代包括支援センター(日本版ネウボラ)準備事業 286万円

新規

都市公園活性化事業 917.8万円

(氷見運動公園の長寿命化、再整備に向けた基本設計)

柳田地区の事業概要

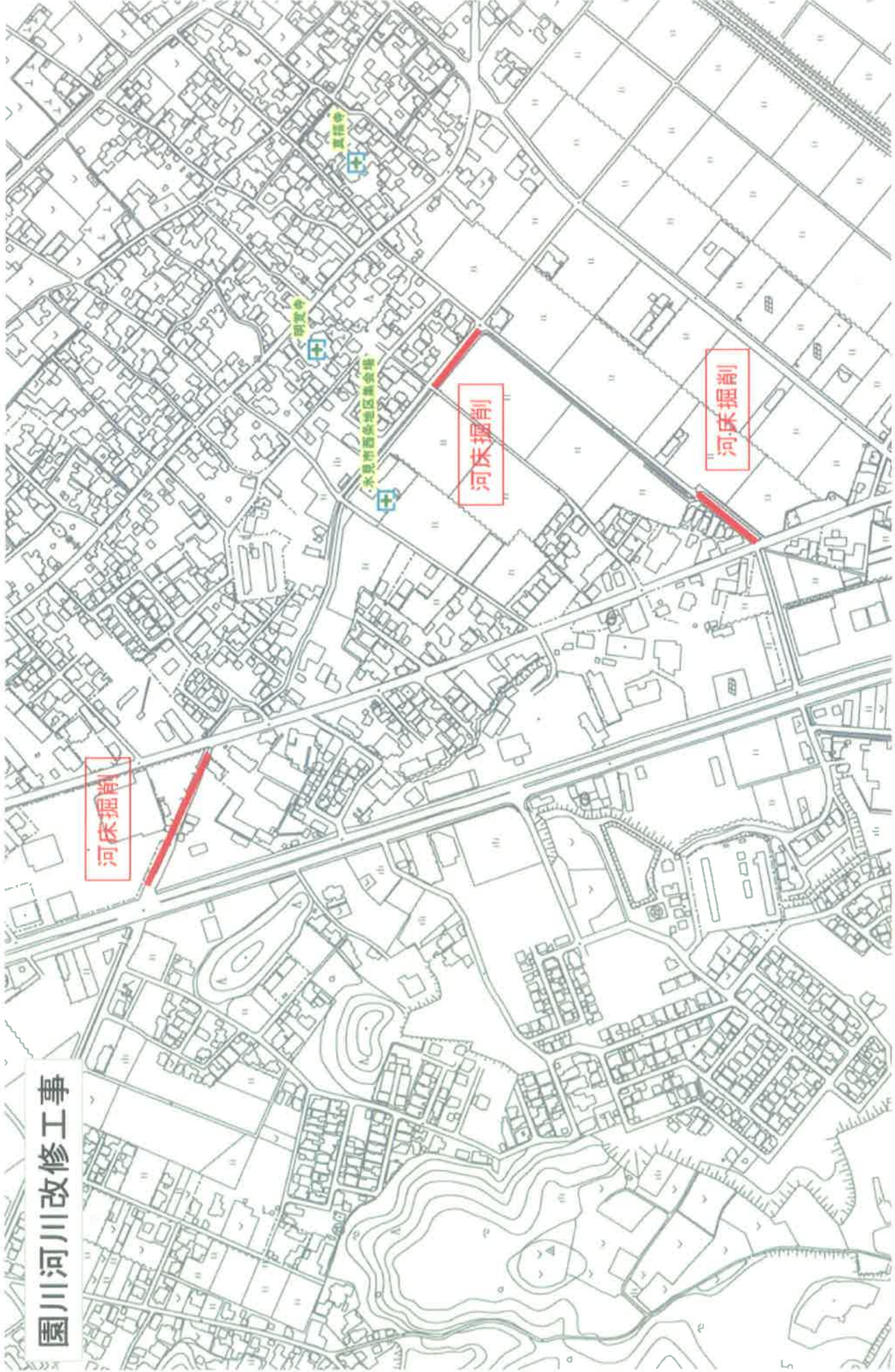
■ 地区の工事箇所

実施年度	工事名	工事(業務)場所	契約(予定)日	完成(予定)日	契約金額または予算額(円)
H29	園川河川改修工事	柳田	H29.7.28	H29.8.31	864,000
H29	松田江排水路清掃委託	窪・柳田	H30.3月予定	H30.3月予定	1,000,000
H29	市道柳田東2号線側溝補修工事	柳田	H29.4.28	H29.6.16	880,200
H29	市道井干線交通安全施設補修工事	柳田	H29.8.8	H29.9.15	951,000
H29	市道沖の宮1号線側溝改修工事	柳田	H29.8.25	H29.10.31	2,764,800
H29	市道上泉大浦線舗装補修工事	柳田	H29.9.25	H29.12.8	9,838,800
H29	市道氷見伏木線安全施設工事	柳田	H29.10月中旬	H29.12.15	1,503,360

実施年度	工事名	工事(業務)場所	契約(予定)日	完成(予定)日	契約金額または予算額(円)
H29	配水管布設替設計(その7)委託	柳田	H29.8.24	H29.11.30	864,000
H29	柳田地内配水管布設替工事	柳田	H29.9.22	H29.12.8	26,568,000
H29	柳田地内配水管布設替(その2)工事	柳田	H29.10.24	H29.12.8	6,426,000
H29	柳田地内配水管布設替(その3)工事	柳田	H29.10.24	H29.12.8	6,372,000
H29	柳田準幹線管渠布設第29-1工区工事	柳田	H29.5.31	H29.6.23	1,505,520
H29	柳田準幹線管渠布設第29-2工区工事	柳田	H29.5.31	H29.7.10	1,954,800
H29	柳田準幹線管渠布設第29-3工区工事	柳田	H29.6.1	H29.8.10	4,457,160
H29	柳田準幹線管渠布設第29-4工区工事	柳田	H29.6.23	H29.8.17	7,363,440
H29	柳田準幹線管渠布設第29-5工区工事	柳田	H29.9.22	H29.12.1	6,375,240

実施年度	工事名	工事(業務)場所	契約(予定)日	完成(予定)日	契約金額または予算額(円)
H29	柳田準幹線管渠布設第29-6工区工事	柳田	H29.10.25	H30.1.19	6,006,960
H29	柳田污水管渠布設第29-1工区工事	柳田	H29.5.31	H29.6.23	1,017,360
H29	柳田污水管渠布設第29-2工区工事	柳田	H29.5.31	H29.8.10	1,470,960
H29	柳田污水管渠布設第29-3工区工事	柳田	H29.7.4	H29.8.17	462,240
H29	柳田污水管渠布設第29-4工区工事	柳田	H29.9.22	H29.12.1	2,263,680

園川河川改修工事

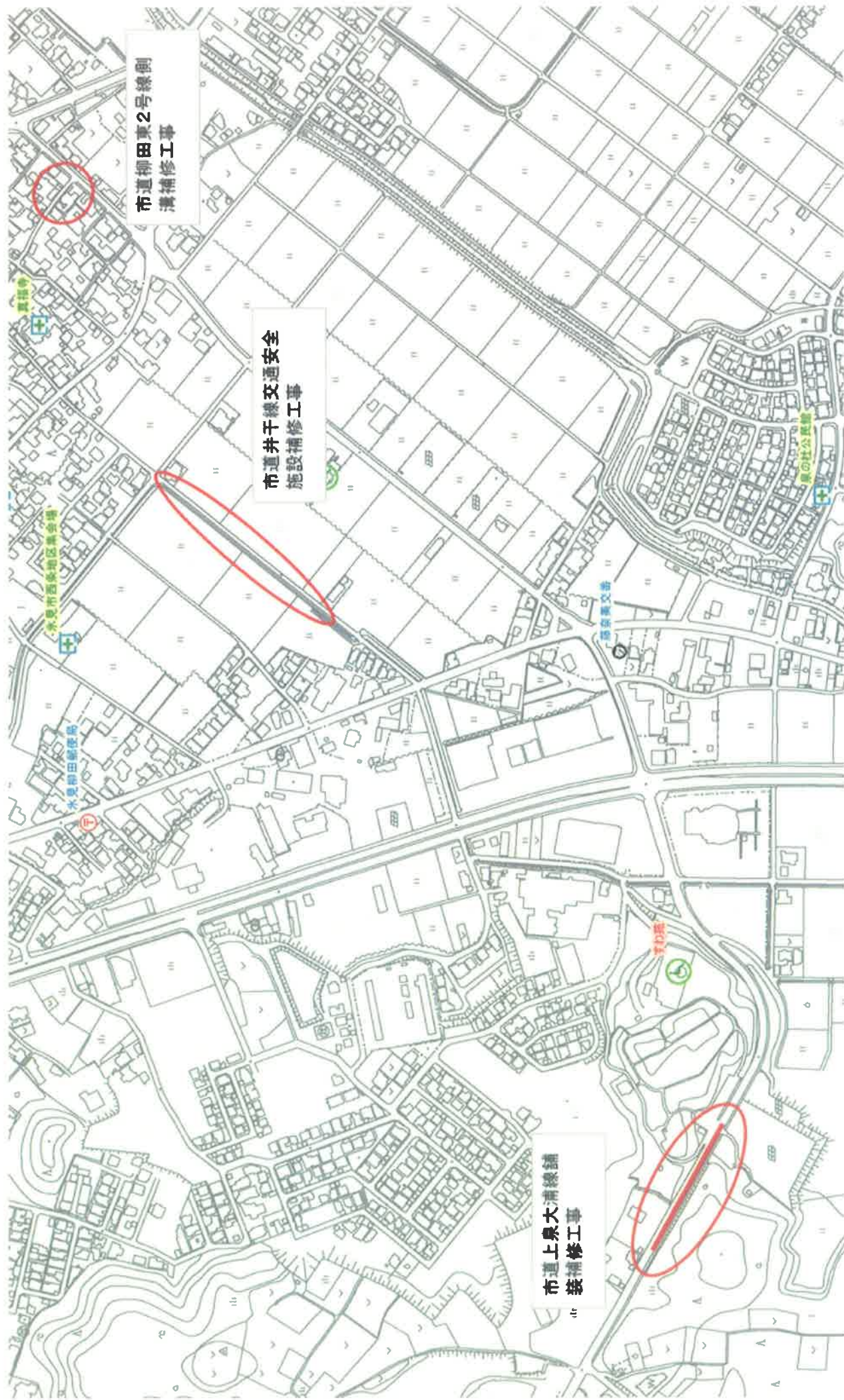


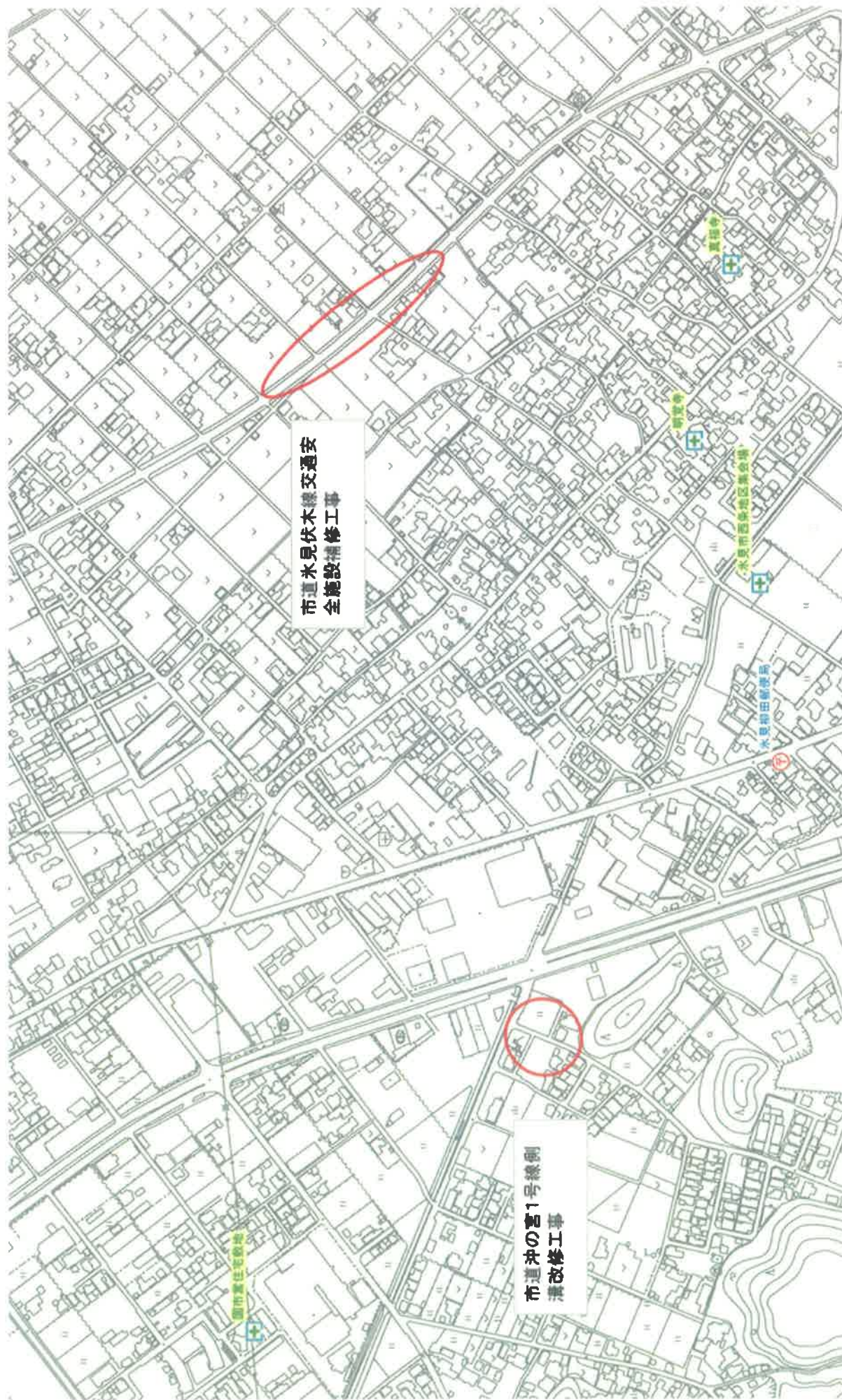
河川水路等維持補修事業費

松田江排水路清掃委託

窪・柳田地内





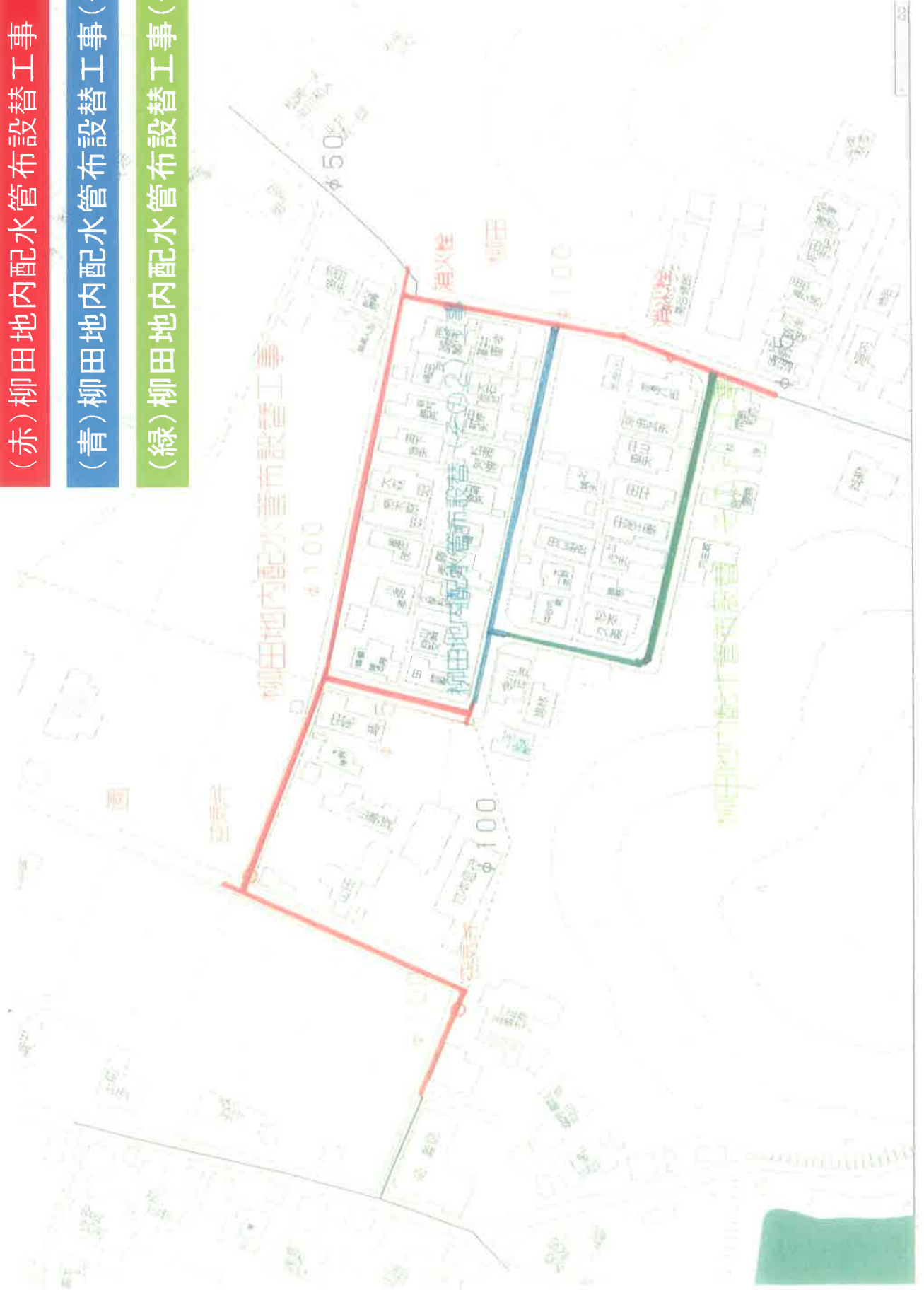




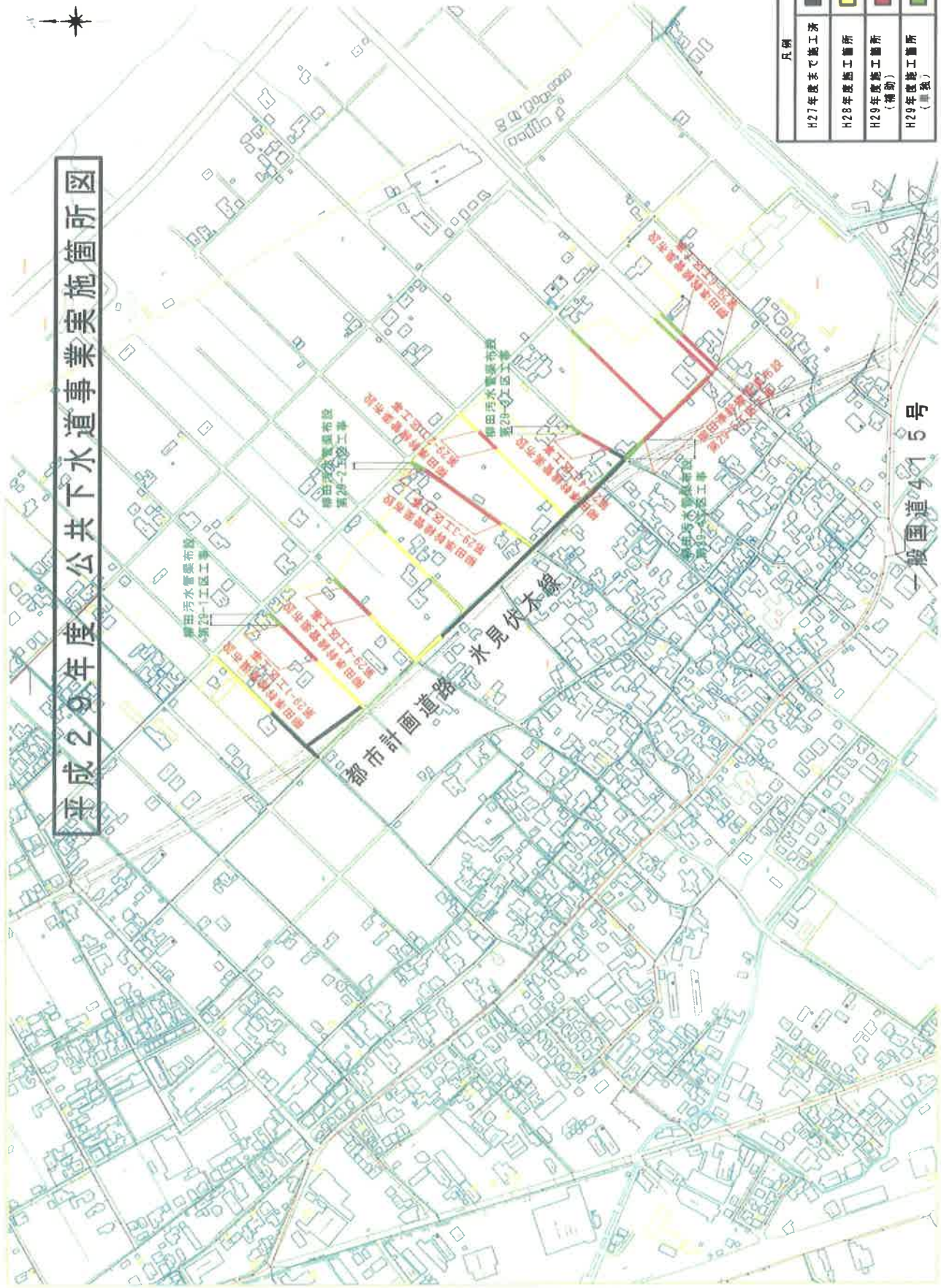
(赤) 柳田地内配水管布設替工事

(青) 柳田地内配水管布設替工事(その2)

(緑) 柳田地内配水管布設替工事(その3)



平成29年度公共下水道事業実施箇所図



一般国道415号

実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 (円)	担当課	備考
H29	コミュニティ助成事業	獅子舞用具の新調及び整備	2,500,000	企画政策課	
H29	地域防災力向上支援事業	窪地区自主防災会の防災訓練に対する補助金	100,000	地域防災室	
H29	健康ウォーキング	地区住民を対象としたウォーキング教室を開催(3月)	5,000	健康課	
H29	健康教室	地域の健康づくりの意識を高め実践に結びつけることを目的に講義、実践を行う。(8月27日)	5,000	健康課	
H29	子育て広場	地域の保育園を会場に年1回、未就園児とその家族を対象に健康教室を行い、家族ぐるみで健康づくりの実践ができるように働きかける。(7月5日、12月13日)	2,000	健康課	
H29	らくらくメニュー講座	乳幼児とその保護者を対象に教室を開催し、食習慣の改善を図る。(3月9日)	7,000	健康課	

実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 (円)	担当課	備考
H29	介護予防事業 高齢者レクリエーション教室	高齢者を対象にレクリエーション教室を実施することで、閉じこもりや要介護状態になることを予防する。(9月13日、9月20日)	4,200	健康課	
H29	介護予防事業 高齢者元気ハツラツ教室	高齢者がいきいきと自立して生活できるように、食生活改善に関する知識の普及を図る。(9月27日)	3,000	健康課	
H29	健診PR活動	7~9月までがん検診をPRするための旗を地区に立て、がん検診の受診率向上を図る。	2,000	健康課	
H29	道路整備地域支援事業	柳田地区(道路側溝)	493,218	建設課	
H29	道路整備地域支援事業	柳田地区(道路側溝)	499,372	建設課	
H29	水路整備地域支援事業	柳田地区	500,000	建設課	
H29	多面的機能支払交付金	農地保全活動(草刈り・泥上げ等) 農村環境保全活動(花壇の造成等)へ支援	4,054,069	農林畜産課	
H29	松くい虫防除薬剤散布委託料	松くい虫の防除のため窪・柳田・島尾の海岸部の松林を無人ヘリで薬剤散布を2回行った。	1,890,000	農林畜産課	3地区での全体事業費

実施年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 (円)	担当課	備考
H29	地域コミュニティ活性化事業	万葉歴史観・勝興寺を訪ねて	30,100	窪公民館	3地区
H29	地域コミュニティ活性化事業	教養講座の集い	24,100	窪公民館	3地区
H29	地域コミュニティ活性化事業	窪公民館まつり	25,400	窪公民館	3地区
H29	地域コミュニティ活性化事業	年忘れカラオケ大会	19,000	窪公民館	3地区

[現地調査]

- ・公共下水道の整備
(柳田コミュニティセンターの先一嶋畑宅他2件)
- ・上泉海岸線陸橋付近の草の管理
- ・市道への認定
(都市計画道路氷見伏木線と島尾柳田線を結ぶ道路)
- ・消防分署の候補地等
- ・雇用促進住宅柳田宿舎の活用等
- ・柳田4組と5組との境の水路(JR氷見線付近)
- ・都市計画道路と中仙道付近の押しボタン信号機の設置
- ・元池永生コン付近の用排水路の整備
- ・柳田企業団地の空き地活用
- ・満水の度越すと付近の道路が水浸しになる
(元広瀬木材付近の水田)
- ・園川の堤防に相当以前から家が建っている現状

柳田地区事前質問

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
<p>1. 柳田、窪、島尾、高岡市太田伊勢領の畑作地に小矢部川から水を送水している管は、石綿管で老朽化がひどく設置されてから約60年も経過しているためか時々管が破裂し送水ができなくなるほか修理代も相当な額になっている。畑作を継続していくためには、送水管の取り替え工事が必要とされ莫大な事業費が予想される。受益者の負担を軽減する方策を検討する一方、畑作を継続してゆく後継者の確保等の課題がある。西条畑かんが抱えるこのような課題について、市としての指針を示していただければ幸いである。</p>	<p>西条畑地かんがい送水管の更新については、県との協議において、事業の必要性や継続的な営農を担保するなどの観点から、受益地区の将来的な営農展望の作成が必要となっています。</p> <p>その将来的な営農展望については、この地域で農業を営まれている方々、農地を管理されている方々など、実際に畑地かんがいと直接的な関わりを持たれる方々の意向が何よりも重要であり、現在、この地域で中心的に農業をされている方や県(高岡農林振興センター)、氷見市農協、市の関係機関によって将来展望の検討を行っています。</p> <p>また、当地域は、近年、宅地化の進行も著しく、住宅ゾーンと営農ゾーンの区域分けについて、現在行っている都市計画マスタープランの見直しの中で検討していくことが必要であると考えています。これらの課題はありますが、地域の方からご意見をいただき、ご理解を得て、実効性のある将来の営農展望が描いていかなければならないと考えています。</p> <p>こうしたことから、事業主体である西条畑地かんがい土地改良区の取り組みを県や氷見市農協など関係機関と連携しながら支援に努めてまいります。</p>	<p>農林畜産課 農業畜産・いのしし等担当:高野 74-8086</p> <p>建設課 農林業基盤整備担当:南 30-7011</p> <p>都市計画課 都市計画担当: 浜本 74-8078</p>

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
<p>2. 今年7月初旬の集中豪雨の際、柳田地区を流れている市の河川である園川が満水となり、あっという間に濁流水が付近の水田に流れ込み、水田が湖のような状況になりました。以前から園川の改修工事、十二町潟排水機場の能力アップを要望し続けています。国、県等の関係機関と協議をしておられると思いますが、見通しはどうか。毎年同じことを繰り返している現況をふまえ、早急に対応されたい。</p>	<p>十二町潟排水機場は、10年に1回の想定で起きると思われる豪雨の雨量で農地に30cmの24時間湛水を許容した計画となっています。ただ近年の山間地開発や市街地開発、更には異常気象などで流水形態が大きく変化しており、農地の湛水区域も拡大しているものと思われます。</p> <p>浸水対策については、毎年改修工事を実施していますが、園川や排水機場の改修だけではなく、流末を同じくする堀田川や神代川についても併せて検討する必要があり、そのためそれら河川を管理する県とともに総合的に対策を検討していきたいと考えています。</p>	<p>建設課 治水・治山担当: 椀澤 30-7071</p>
<p>3. 都市計画道路関連で公共下水道の整備の進捗に感謝しております。都市計画道路と柳田島尾線までのエリアが対象区域とされていますが、その区域内で自然流下できない箇所が対象外とされ、前の市長さんに公平な取り組みをお願いしてエリアに組み入れる約束までになっているところですが、住民の切なる要望にこたえていただきたい。</p>	<p>公共下水道の柳田地区について、市道島尾柳田線までの区域拡大に向けて、自然流下できない箇所等の工法研究など現在作業を行っております。今年度中には、区域拡大が承認され、ご指摘の箇所についても対象となる予定となっています。</p>	<p>上下水道課 下水道経営企画 担当:布野 74-8207</p>

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
<p>4. 人口減少は、未婚率、初婚年齢の上昇が要因と分析されていますが、もう一つ大きな観点は、人口の市外への流出であると言われています。なぜ流出するのか、氷見には魅力はないのか、柳田地区で昨年若い世代の方々と意見交換し柳田地区の運営に反映させようとの試みがありました。様々な意見が出ましたが、若い世代の出会いの機会を増やす事が必要との意見があったほか、柳田地区で家を建てようとする、農振除外の手続きに時間がかかりすぎるため、市外への流出につながっているのではないかと意見もありました。昭和51年以降見直しされていない用途地域の見直しを検討すべき段階にきているのではないかという見方もできます。市の考えをお伺いしたい。</p>	<p>柳田地区には農用地区域(農業生産の中核を担う区域)に指定されている地域があり、また白地地域の一部には、スプロール化によって宅地化が進んでいるところもあります。そのため、平成29年度から2カ年をかけて策定する都市計画マスタープランの中で、用途地域の見直しを含む土地利用等について検討を進めているところでもあります。</p>	<p>都市計画課 都市計画担当: 浜本 74-8078</p>

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
<p>5. 2021年度までに廃止が決まっているといわれている雇用促進住宅は、柳田地区に2ヶ所ある。雇用促進住宅を管理運営する高齢・障害・求職者雇用支援機構は、市町村に譲渡した残りを今年6月に一括東日本民間賃貸サービスに売却したとのことである。今後、ビレッジハウスとして入居者をハローワーク経由の入居者だけでなく学生、留学生、高齢者や生活保護受給者も積極的に受け入れるとしている。柳田の2ヶ所について、市は東日本民間賃貸サービスと何らかの接触・協議をしているのかお伺いしたい。</p>	<p>東日本民間賃貸サービス合同会社から、国土利用計画法に基づいて「土地売買等届出書」が市を経由して県へ提出されました。 また、この10月に所有者変更に伴う建物名称変更について、11月から「雇用促進住宅柳田宿舎」は「ビレッジハウス柳田」に、「雇用促進住宅柳田第二宿舎」は「ビレッジハウス柳田第二」に変更になるとの案内は受けておりますが、協議などは受けていないのが現状であります。</p>	<p>都市計画課 景観形成担当: 堂田 74-8078</p>

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
6. 都市計画道路氷見伏木線より海岸側の窪、柳田地内にこの道路を横断しないと通学できない窪小児童が50名余います。新たな道路は、車にとっては利便性の高いものですが、通学のためにこの道路を横断する児童にとっては極めて危険です。道路幅9m、制限速度50km/hのこの付近に押しボタン信号機が必要であります。早期に設置されるよう取り計らってほしい。	押しボタン信号機の設置に関しては、道路交通法等の規定に基づいて富山県公安委員会が設置することになります。 今回の要望については、既に氷見警察署から警察本部交通規制課に意見上申していると聞いていますが、県下15警察署から同様に信号機設置の要望が寄せられており、各要望の中からより必要性の高いものを選定した上で、順次設置されるものと思っています。	環境・交通防犯課 交通・防犯担当：阿原 74-8068
7. 市内の人口は、高岡よりの南部地区に移動している。南部の人口、世帯数共に多くなっている。消防の救急業務に焦点を当ててみると、南部地区の出動回数が多いと聞いている。救急は時間との戦いである。そこで提案ですが、氷見南部地区と高岡の二上、守山地区、太田地区をエリアとする救急分隊の創設を高岡市と協議し、分隊所を氷見市内におくことを模索すべきと思うが、市の考えをお聞きしたい。	ご指摘のとおり救急車の現場到着時間が短縮されれば、救命率の向上が期待できます。このことから、年間救急出動の約3分の1を占める南部地区に出張所を設け、消防車と救急車を配置して火災等の被害の軽減と救命率の向上を図りたいと考えています。なお、救急車の出動エリアは、地区ごとではなく救急現場に一番早く到着できる直近の救急車が出動することとなっています。	消防 警防課：正保 30-7112

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
8. 都市計画道路全線開通により交通量も増加している柳田地区、その都市計画道路と市道島尾柳田線をむすぶ、全長255mの道路(宮下孝明宅より丸山博幸宅までの間)が、農道の取り扱いはままになっている。都市計画道路と島尾柳田線をむすぶ他の道路は、当該農道と同じ道路幅にもかかわらず、市道とされている。平成26年に市道認定を出したところ道路側溝が無いとの理由で却下されました。当該農道には公共下水道も入り一部には宅地分譲計画が不動産業者により進められている現状をふまえ、早急に市道に認定されたい。	平成26年度から市道の認定基準が変更となっており、それ以前に市道認定を受けたものについては、4m未満でも市道となっているものがあります。しかし、現在の認定基準では、道路幅員が4m以上となっていることから、側溝等が整備されていることなどの要件を全て満たしていることが条件となっています。 当該道路につきましては、現地を確認しましたが幅員及び側溝の認定基準を満たしていないことから、市道認定を行うのは難しいものと思われます。	建設課 道の管理担当：河端 30-7070

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
<p>9. 柳田出身3人の画家の高い美意識を柳田地区民だけでなく、氷見市全体に伝え残していくため画業の記録・保存をしてはどうか。そのための予算措置を市当局にぜひ検討してもらいたい。洋画の布尾良作氏、漆工芸の武田武弘氏(ともに故人)と日本画の湊忠一氏。布尾氏は、日展、光風会を中心に活動され、元県洋画連盟委員長。武田氏は、千葉で活動され、日展および現代工芸美術家協会の評議員。湊氏は、日展会友、元県日本画家連盟委員長であり、それぞれの方の功績を伝えてゆくことが必要ではないかと思いますが、市の考えをお伺いしたい。</p>	<p>これまでも氷見市ゆかりの方々の絵画や彫刻などの美術品で購入又は寄贈を受けたものを市民の皆様目に触れやすい教育文化センターをはじめとする公共施設に展示させていただいています。また、博物館でも機会を捉えて郷土作家シリーズや氷見にゆかりの作家展などの特別展を開催してまいりました。今後も様々な機会を捉えて氷見を代表する芸術家の功績を伝えていくとともに、芸術文化活動の振興に努めてまいります。また、自治会や団体の地域活性化の取り組みとして提案内容の事業を検討される場合には、市としておらっちゃ創生支援事業で支援できるのではないかと考えていますので、ご相談ください。</p>	<p>芸術文化振興室：平田 74-8215 企画政策課 協働推進班： 舩田 74-8013</p>

質問内容	回答等	担当課及び 担当者
<p>10. 昨年3月3日に文部科学省より優良公民館として表彰された窪公民館は、窪小学校建て替えの際、校舎の一部を移築したもので老朽化が進んでいる。当公民館は、各種の講座、公民館祭り、校下大運動会等々の数多くの事業を実施しているほか、校下社会福祉協議会の活動の拠点の場としても利用されている。校下のコミュニティの場としても欠かせない施設となっている。窪校下の人口世帯数が氷見市内で一番多いことを考慮すれば公民館を少し大きめのものに建て替えを検討しても良い段階ではないかと思う。以前から市に陳情していたこともあったと聞いているが、実現せずに今日にいたっている。市の考えをお伺いしたい。</p>	<p>窪公民館では、放課後子ども教室として書道教室が開かれているほか、各種教室の開催や地区運動会、公民館祭りなど様々な事業に積極的に取り組まれております。また老朽した施設を少しでも長くまた快適に利用できるよう、長年にわたり資源回収を実施されその収益を改修費用にも充ていただくなど、地域としても最大限の努力をさせていただいていることに感謝を申し上げます。市内の公民館は窪公民館を含む6館が専用の施設と常勤の主事が配置されていますが、それ以外の校区にはこのような体制が整っておらず、不平等とのご指摘をいただいております。市として、現在の公民館のあり方について、そのような課題があると認識してこれまでも検討してきました。一方、人口減少が進む本市において、今後の地域のあるべき姿を捉え、旧小学校校区21地域での地域づくり協議会の設立を支援しており、その拠点の整備について検討していくこととしています。また、公共施設の改修、更新等に当たっては、「公共施設マネジメント」に基づき、既存の施設の集約化・複合化を進めることとしており、市全体の計画の中で検討していきたいと考えています。</p>	<p>教育総務課 生涯学習・文化財担当：小谷 74-8211</p>

平成29年度要望書

要望項目	対応内容	担当課
<p>[柳田自治会] (継続)市道上泉海岸線と都市計画道路氷見伏木線との交差箇所の信号機の設置について</p>	<p>押しボタン信号機の設置に関しては、道路交通法等の規定に基づいて富山県公安委員会が設置することになります。 今回の要望については、既に氷見警察署から警察本部交通規制課に意見上申していると聞いていますが、県下15警察署から同様に信号機設置の要望が寄せられており、各要望の中からより必要性の高いものを選定した上で、順次設置されるものと思っています。</p>	<p>環境・交通防犯課 交通・防犯担当:阿原 74-8068</p>
<p>[窪区長,柳田区区长,園区長,窪小学校,窪小学校育友会] 氷見伏木線における押しボタン信号機設置について</p>	<p>押しボタン信号機の設置に関しては、道路交通法等の規定に基づいて富山県公安委員会が設置することになります。 今回の要望について、担当窓口である氷見警察署に確認したところ、既に警察本部交通規制課に要望内容を意見上申しているとのことでした。ただ、県下15警察署から同様に信号機設置の要望が寄せられており、各要望の中から、より必要性の高いものを選定した上で、順に設置されることになるそうです。市では、警察署に対し、学校付近の通学路であり、交通の安全を確保するために押しボタン式信号機の設置を要望していきたいと考えております。</p>	<p>環境・交通防犯課 交通・防犯担当:阿原 74-8068</p>